

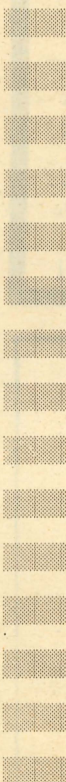
# 「光と影〜 Jazz Scene in Vancouver」

ウォーター・ストリートに新しくオープンした画廊「ソウル・アート・ギャラリー(Soul Art Gallery)」は、バンクーバーの観光名所の一つである蒸気時計が立つスクエアのビルの5階に店を構えている。写真家のリチャード、抽象絵画を描くマルタ、ギャラリーの二人のオーナーは共にアーティストだ。

去る3月4日はギャラリーのグランド・オープニングの日で、3月27日まで開催されるマルタの個展「ダル・アニマ(Dall' Anima)〈イタリア語で魂の意味〉」の初日もあった。ここにどうしてジャズが関係してくるかというところ…

「色々な芸術形態の可能性を示したい。この画廊を、単に絵画だけでなく、音楽、ダンス、詩などの発表の場として使いたいんだ。例えばジャズのライブを定期的に続けていくつもりだが、そうやってジャンルの垣根を取り払うことによって、様々な人と作品が出会うだろうと私達は考えている」彼自身サクソフ・プレーヤーでもあるリチャードは説明してくれた。

彼らの目論見は当たった。その晩、小さな画廊に様々な年齢層と人種が入り混ざった100人近くの客が集まった。そこである人



グラス・スリッパでのライブ

々はジャズに聞き入り、別な人々は絵画を鑑賞し、また別な人々は初めて知り合った人々と会話を交していた。素晴らしい「出会い」の光景だった。今後も、3月19日にはソプラノ・サク

ソ奏者フランソワ・ウール (Francois Houle)、3月26日にはアフリカから来たグループ、クワシ・アンド・ジ・オディエンベ(Kwasi & The Ogedengbe Drummers)のライブがある。また3月22日から26日には彼



らによるアフリカン・ドラムとダンスの講座も予定されている。

こうして、新たなジャズ・スポットが一つ生れたわけだが、これと対象的に、市内メイン・ストリートで2年間ジャズ・ファンに質の高い音楽を提供し続けてきた店「グラス・スリッパ(Glass Slipper)」が、その短い歴史を一旦閉じようとしている。非営利団体、ムサート・カルチュアル・ソサエティ(The Musart Cultural Society)によって運営されるこの店は、とりわけコマーシャル・タイプでない創造的な音楽を探るミュージシャン達の発表の場として使われてきた。

「大きな問題は演奏するスポットの少なさだ。」団体の創設者で長年プロのドラマーとして活躍してきたロジャー・ベアードは語る。「ここバンクーバーのいわゆる「ジャズ・クラブ」のオーナー達の多くは音楽的な質には目もくれない。その結果として水で薄められたようなBGM音楽ばかりが氾濫する結果となっている。」

そんな困難な状況の中でグラス・スリッパは観客を「教育」という役割を果たしてきた。特に20代のファンを増やすことに。

こうして段々と歯車が回り始めた今、家主の都合により、店は現在の場所から移動



せざるを得なくなった。ロジャーは5カ月前から新しいスペースを捜してきた。

「やっと決まりそうだ。バンクーバーでコンサート会場のような公共スペースを開くには多くの建造規則をみたさなければならない。スプリンクラー、火災警報機、対地震用の構造その他。だが我々が家賃を支払うことのできるような古いビルには大抵そんな設備は付いていない。もし改築をしようとするれば、我々の資金では賄えないような莫大な費用がかかるだろう…。」

では現在のシーンはネガティブな要素ばかりなのだろうか？

「そんなことはない。ジャズを理解する良い観客の数は増えている。実際、3月末の閉店に先立って行われた移転記念ライブは大変なヒットだった。

もう一つ重要なのは地元の多くのミュージシャンが音楽的成長の最盛期にあり、それがバンクーバー以外の地でも認められて

きているということだ。」この地で毎夏開かれるジャズ・フェスティバルがその大きな助けになっていると彼は言う。

6月末から7月初めにかけて、バンクーバーは世界各国からやって来る400人以上のジャズ・ミュージシャン達によって“乗っ取られる”。タバコ会社デュ・モーリエがスポンサーとなるこのフェスティバルを主催するのはコースタル・ジャズ・アンド・ブルース・ソサエティ(Coastal Jazz & Blues Society)だ。

この協会は1986年に設立され、同年から始まったこのフェスティバルも今年で8回



マルタとリチャード



ロジャー・ベアード



ケン・ピッカリング

目を迎えようとしている。彼らの大きな功績は、クリエイティブな音楽を経済的にサポートできる状態を自ら作り上げたことだ。

設立者の一人、ケン・ピッカリングは、「今や協会はバンクーバーだけでなく、カナダ全体のジャズ・シーンをリードしていると見なされるようになった」と自負する。

協会の活動はフェスティバルの開催だけでなくとどまらない。隔月のニュース・レターの発行、学校の音楽教育者達との提携によるワーク・ショップ、セミナーの開催等。ケンが言った。「ジャズの将来を担うだろう若者達が、才能あるミュージシャン達と直に触れあい、創造のプロセスを分つ以上に、シーンに活気を与える方法があるかね？」

今回の一連の取材を通じて強く感じたのは、やはりミュージシャンの層の広さと厚さだった。ライブに足を運ぶ度に新たな感動を覚えたが、まだ“夏”は近づいてさえもないのだ。

また、次の方々にもお世話になりました。Thank you very much for your help. Coat Cooke, Daniel Kane, Francois Houle, Larry Svirchev. (取材 梅本昌男)

- ソウル・アート・ギャラリー  
(Soul Art Gallery) ☎689-2787  
#5-305 Water St. Vancouver,
- グラス・スリッパ  
(the Glass Slipper) ☎877-0066  
185 E 11th Ave. at Main St. Vancouver,

● 気・に・な・る・お・店

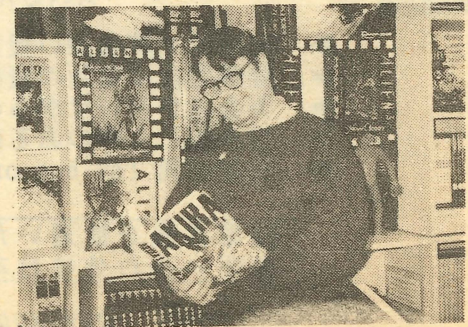
コミック・ブック専門店「ゴールデン・エイジ」は漫画ファン以外の人にも楽しいお店だ。映画ポスター、ポスト・カード、野球カード、玩具等、他の店では手に入りくい品物が所狭しと並ぶ。オーナーのバットがこの店をオープンしたのは、彼がまだ高校3年の時だった。

「10才の時から漫画本を集めててね。友達とそれを交換したりしてたのが高じて今の商売を始めたんだ。」

約20年前の開店当初こそ苦労したものの、その後は順風満帆。年に何回かは有名漫画家のサイン会を開いたりもする。バットの日本人客へのおすすめは英語版の日本マンガ(例えば「AKIRA」)。楽しみつつ、英語を読む勉強にもなるだろうとのこと。

(取材 梅本昌男)

コミック・ブック専門店  
「ゴールデン・エイジ」  
GOLDEN AGE  
COLLECTABLES



830 Granville St. Van. ☎683-2819  
営業時間 月~土 10:00am-9:00pm  
日 11:00am-6:00pm